

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 24 年 3 月 15 日発行

第 40 号

発行人 校長 鈴木史良

公立入試を終えて

—— 不安に打ち勝つ力を身につけた深中生 ——

3月6日(火)、7日(水)に県公立高の入試が行われました。事前に発表された県内の倍率は全日制で1.12倍、前年度を上回り、現在の入試制度になった08年以降で最高となりました。

今年度の3年生たちが受験した県公立高校は三島北、御殿場、御殿場南、小山、裾野、沼津東、沼津西、沼津城北、沼津工の計9校です。中でも沼津東が1.39倍、三島北が1.36倍と高倍率でした。3年生たちは、この日のために努力を重ねてきました。自分の進路に不安を感じることも多かったと思いますが、自分の前の困難に打ち勝ち、未来を切り開こうと必死に努力してきました。入試を終えた3年生の率直な気持ちをここに紹介します。

- 入試前、わたしは家で不安ばかり感じていたのです。勉強をやってもやっても不安が消えず、それはますます大きくなっていきました。その気持ちは入試当日まで続き、1時間目の国語の試験では手が震えていました。学力検査全体は、やはり難しかったです。覚えていた問題が出たりしたので、2時間目以降のテストは落ち着いて解くことができました。面接では、何を尋ねられたか覚えていないほど緊張してしまいましたが、終わった後の達成感はとても大きかったです。入試が終わり、卒業まであと少しですが、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

不安の日々が続いたと思いますが、それを乗り越える力をもたねばなりません。家族の応援、級友の励まし、先生方の指導を支えにした「達成感」に実感がこもります。

- 初めて自分の進路について真剣に考え、とても不安になることもありました。しかし、絶対に合格したいという強い気持ちをもって、今まで頑張ってきました。学力検査では、とても緊張して自分の思うような力を出すことができませんでしたが、できる限りのことはやれたと思います。面接ではあまり緊張せず、ありのままの自分の姿をアピールできたと思



お別れ遠足で「はいポーズ！」



3年生は豪華なバイキング給食



「3年生に感謝する会」での3年生

います。もうすぐ私たちは卒業します。今まで知らなかった新しい世界に行き、様々な困難にぶつかると思います。そんな時、この中学校で学んだことを生かせるようにしたいです。

絶対に合格するぞ！という信念をもって臨んだ入学試験。その言葉の裏には、決意を裏付けるだけの努力をしてきたという自負が感じられます。目標に向かって一所懸命、やるだけのことを十分やりきったすがすがしさが爽やかです。

盛り上がった「3年生に感謝する会」

3月13日（火）に生徒会主催による「3年生に感謝する会」が行われました。1年生は修学旅行や部活の一場面を寸劇にして演じ、笑いを誘いました。2年生は3年生が文化の部で発表したダンスをモチーフとしたオリジナルなダンスを披露しました。生徒会本部制作の思い出がいっぱい詰まったスライド、深良中を去った先生方からのビデオレター、どれもすばらしものでした。3年生からは EXILE の楽曲「道」の合唱がプレゼントされ、心に残るひとときを過ごすことができました。



3年生を前に1,2年生の熱演

ある日の授業風景

1年生 数学「資料の整理と活用」 授業者名 中村有花

「カチカチカチ・・・」教室に電卓をたたく音だけが聞こえます。数学で電卓！？気温の平均値を求めています。1年生で学習するラストの単元では、生活の中のあることに関する傾向や特徴を、表やグラフに整理し、それをもとにその資料について説明できるようになることがねらいです。グラフを描けるようになることだけが目標ではありません。章の最初の授業では、地理の教科書を広げ、雨温図は、折れ線グラフと棒グラフの両方を合わせたものということを知り、気温と降水量の関係を読み取りました。

この単元は、“発表”を中心に授業を進めていくことにしています。なぜなら、“自分の言葉で説明できる”ようになってほしいから。ノートに書いてあるだけでは意味がありません。口に出して発言することで、“わかったつもり”になっているだけだということが判明するかも。

数学が苦手だと感じている人も大丈夫です。計算や難しい理論もなし。ただし、黙って座っているだけではいけませんよ。数学が世の中で生きているということを実感し、数の美しさにとことん触れてくださいね。

